

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐山高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和7年11月6日(木) 14:00～16:00
- 3 開催場所 岐山高等学校会議室
開催にあたり、委員による授業見学を実施した
- 4 参加者 委 員 長谷川哲也 岐阜大学教育学部 学校教育講座 准教授
中川ひろみ 岐阜大学医学部 地域生涯発達看護学講座 教授
石井 郁夫 長良東自治会連合会 会長
内田 真樹 長良東民生委員 主任児童委員
若井 悟 本校元同窓会長

学 校 側	増田 泰志	校長
	尾関 香織	教頭
	山田 茂雄	教頭
	川口 晋	教務部長
	有賀 浩樹	生徒支援部長
	黒木 綾子	進路支援部長
	小島 隆史	教務副部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 授業見学についての感想

- 感想1: 大変良い環境下で学習ができることを実感した。それぞれの学年に応じた授業展開が見られ興味深かった。タブレット学習や協同的学習をしていた教室もあり、先進性を感じた。確かな学力の形成のための努力が見られてよかった。
- 感想2: 生徒が主体的に学べる環境があり、大変良かった。
- 感想3: 木のぬくもりを感じる校舎で素敵な環境だと感じた。落ち着いて学習に向かう生徒の姿が見られてよかった。イベントも楽しみである。
- 感想4: 以前よりも生徒たちが落ち着き、授業に向かっている様子が見られてよかった。真剣な態度の生徒と接することができる岐山高校の先生は幸せだと感じた。大学案内パンフレットの提示方法がよく、さらに進路に対する生徒の意識を高揚させてほしいと感じた。

(2) 岐山高校の教育活動について

①令和7年度の主な行事予定

- ・例年と異なり、今年度は文化祭を6月に実施し、8月、11月に新校舎記念式典を行った。
- ・昨年度まで文化祭は9月の開催であった。来年度は9月実施としていきたい。

⇒岐山祭（文化祭）を例年の開催時期とする。

1月21日（水）～26日（月） ベトナム研修

【行事関係】

意見1：体育祭のメモリアルでの開催は他校でも行っているのか。

⇒岐阜5校のうち4校が同一週にメモリアルで行っている。だんだんとメモリアルで実施する学校が増えている。私立高校も行っている。室内で暑くない点と保護者の方々が観覧しやすい点がメリットとして挙げられ、好評である。

意見2：全国的に修学旅行がインバウンドの影響で困難と聞いているが大丈夫か。

⇒生徒が入学してから業者選定を行うと、インバウンドの影響で限られた選択肢となってしまう。バスの確保も困難な点がある。東北方面への修学旅行は震災学習があり大変好印象であった。岐山は東北方面という特色を出してもよいのではと判断した。現1年生以降は東北方面という形で進めていきたいと考えている。

⇒金額は3泊4日で10万円以内。沖縄だと飛行機利用もあり12万を超えてしまう。集団行動・指導という観点でも東北方面は新幹線利用のためメリットがある。

意見3：引率教員の旅費は実費なのか。

⇒県から実費支給される。

意見4：ベトナム研修は昨年度と同じように展開されていくのか。

⇒今後の交流については、経済状況や体制の違いにより来年度以降の相互交流できるかは何とも言えない。日本に来てもらった際にはホームステイ先の確保が困難であった。互いに負担が少ない形で展開できるのが理想である。

②令和7年度 学校評価アンケートについて

【全体の傾向と分析】

⇒基本的には良い結果が得られている。昨年度と比較し、0.2pt 以上増加がみられたのは新校舎に関する項目（保護者回答）、他項目について0.2pt 増加（生徒回答）。

⇒登校した後に警報が出たケースにより健康管理・安全指導に関する項目で0.2pt 以上の減少が見られた。

⇒生徒と保護者の回答状況の乖離があるため、今後その改善が求められる。保護者にも伝わる措置をとる必要がある

【教務関係】

⇒一斉メール・HP を担当しているが、それらを活用し、保護者への連絡については十分できていると思われる。教員が授業に注力できている。今後は、生徒に力をつけられているのかが問われる段階が来るとと思われる。

【進路支援部】

⇒今年度は意識的に進路関係の資料を積極的に案内することを行っている。生徒の目に留まりやすい掲示を行い、評価されていると感じる。進路資料室に過去問や赤本を生徒が閲覧できるように設置し、活用している。

保護者にも進路に関する情報が行き届いている。しかし、生徒は情報をもらっているが、保護者まで伝わっていないということも見受けられるため工夫が必要である。共通テストの申し込みの連絡については適宜行った。

【生徒支援部】

- ⇒学校では基本的な生活習慣について教員から指導があり、問題行動に関しては、教員全体が動き、厳しく対応していると生徒は感じていると思われる。交通事故等が発生した場合、早急に書類を作成し対応できた。夏休み明けに事故が続けて起こった際も早急に対応ができた。生徒に対して適切に指導、注意を積極的に行えている、しかし、保護者までそれが伝わってはいない。「お子様は楽しんで学校に行っている」の項目で評価が高く、保護者にもそれが伝わっており、家庭での会話は多いと感じる。学校が安心できる場であるという印象を多くの生徒が持っている。
- ⇒交通事故についてはとても気にしている。長良橋が工事中であり、その付近で事故が多発していた。警察、教育委員会にも協力を仰いでいる。自転車のヘルメット着用についてはなかなか定着しない。今後、学校のルールの中にヘルメット着用を明文化するような要請も出ている。ことが起こる前に着用を徹底させていきたい。

意見1：事故は自転車のものか。

⇒全件、自転車に関するものである。

意見2：事故とともに高校生への不審者からの声掛けが気になるが大丈夫か。

⇒本校においては1年に1件程度起きている。

意見3：このアンケートの分析方法は岐山高校独自のものであるのか。Eの割合が多いところのA B C Dの分布を見た方がよいと感じられる。Eの内容について深掘するとよい。Dの内容との比較を行うべき。

ボランティアのEの割合が多いのが気になるが、教育活動中で行っているのか、浸透していないのか気になる

⇒学校全体でボランティアに取り組むことはない。一部の生徒の活動はあるが、全体性はない。

⇒学校にオファーがあるものに関しては、生徒への案内をし、随時参加してもらっている。

③意見交換等

意見1：ボランティア精神についてはなかなか日本になじみのないものであり、難しさを感じる。

意見2：タブレットが自己負担となると聞いたが、同窓会でもタブレット費用について協力できることがあれば協力していきたい。

公立高校の教員が逮捕されるなどの報道が連日あったが、本校でも気を付けていてほしい。

6 会議のまとめ

- ・アンケート結果・ご意見を踏まえ、安全安心できる学校行事を検討。
- ・第3回は、2月9日（月）に実施予定。